

2019 役員の皆さんへ新年インタビュー!

Q1 ■ 2018年、一番感動したことは?
Q2 ■ 2019年、新年の抱負は?



千鳥福祉会後援会 相談役理事 稲塚 公郎
A.1 昨年の10月ノーベル生理学・医学賞に京大本原教授が選ばれました。研究レベルの高さと人類への貢献度の大きさは日本が世界に誇るべきものであり、授賞式での嬉しそうなお夫婦の和服姿が印象的でした。
A.2 今年は松江で日本棋院と地元との共催で、世界アマ囲碁選手権戦(70ヶ国)と女流アマ囲碁都市対抗戦(600名)が開催されます。地元実行委員の一人として準備に励んでいます。海外や全国から来松される皆様が対局や観光と出会いを楽しまれ大会が成功する事を願っています。



千鳥福祉会後援会 副会長 伊藤 立身
A.1 勤めを週日退職、沢山の方との出会いと繋がりに感謝の一語に尽きます。後日、繋がりの深い11人が集い慰労の宴となり、皆の一言一言に胸が熱く、更に、予期せぬ家内と娘の手紙には、感動の余り目頭を熱くしました。
A.2 新年を迎えられた事への慶びと、繋がりを更に強くする機会を頂いた事に、深く感謝の意を申し上げますと共に、「あなただけの生き方を支え続けたい」との理念に繋がる業の一端を担い貢献をしていきたいと思っています。



千鳥福祉会後援会 副会長 長嶺 幸恵
A.1 息子が昨年の11月に、3回目の挑戦で弁理士の国家試験資格に合格しました。
学生時代に興味本位で受けたのが最初で、就職と同時に再度挑戦し、仕事と受験勉強の両立が始まりました。時間を惜しんで日々勉強する姿と、合格するまでやり続ける忍耐力に親バカながら感動しました。
A.2 今年の抱負は健康第一で、昨年と同じく時間と体力がある限り、ボランティアに参加し、少しでも人の役に立ち、地域貢献ができればと思います。



千鳥福祉会後援会 副会長 竹内 房雄
(島根電工株式会社 専務取締役)
A.1 地元氏子神社(立虫神社)の幣殿拝殿改修整備事業の竣功奉告祭を無事出来た事。平成19年から万九千社運宮事業計画から始まり、平成27年万九千社運宮完成と併せ10年間の総務と会計の兼務責任から解放されやっと肩の荷がおりました。
A.2 昨年10月に出張に勤務地移動となりました。目的は、職場改善と営業力強化です。グループ内の社員が一番勤務先を希望する事業所に転属させる事が本年最大の私の仕事です。



千鳥福祉会後援会 理事 安島 壮
(安島工業株式会社 代表取締役)
A.1 5月に娘がようやく結婚し、7月には待望の孫が誕生しました(2か月?)。外孫ではありませんが、毎日娘から送られる孫の動画を首を長くして待っています。
11月には、褒章受章ということで皇居は豊明殿において、平成天皇に拝謁が叶い感激しました。特に、本年元号が変わる節目に頂き、より感動を覚えました。
A.2 世の中は「AI時代」と言われるように、進化のスピードも速く振り幅もどんどん大きくなっています。が、こういう時だからこそ「マイペース」で進んで行こうと考えます。余り世間に振り回されず、自分自身を失わないよう前後左右しっかり眼を開き一歩ずつ確かな歩を刻んでまいります。



千鳥福祉会後援会 監事 木佐 英一
(有限会社木佐設計 代表取締役)
A.1 昨年は前期高齢者の仲間入りをしました。
自分にご褒美という形で東北一人旅をして岩山に登りました。時に歌に物語に語られる山はやはり素晴らしい。麓から見上げては「いいなアー!!」を繰り返していました。
A.2 自分がやっていて楽しいことは「建築と山登り」です。これを長く続けるには「柔軟な心と体」が必要だと思いました。「読書と仕事と山登り」をコツコツとやっていこうと思います。



千鳥福祉会後援会 理事 新田 喜一
(新和設備工業㈱ 専務取締役)
A.1 一番感動した事はサマーフェスタのステージに利用者さんと職員さんと一緒にバンドとして出演した事です。特に今まで利用者さんと触れ合う事がほとんど無かったので練習初日は緊張と不安がありましたが一緒に演じてみたら皆さん感性豊かだし知らなかった発見もたくさんありました。演奏が終わった瞬間が一番感無量でした。
A.2 2019年の抱負は仕事では「仕組みを作り続ける事」。個人的には「癒せる事」です(笑)



千鳥福祉会後援会 監事 青山まゆみ
(カフェ マリンベル)
A.1 トルコで作られた高品質のオリーブ「ゲムリック」。日本との架け橋として「きずなオリーブ」と名付けられたそれを活用し、カフェを経営する傍ら、ひとつのプロジェクトを立ち上げました。(中面下部に詳述)
A.2 カフェをオープンして1年。その間に植えたオリーブは200本。将来に向け、地域で実現可能でまだない取り組みを始めることでカフェの存在意義を高め、必要とされる場所にしていきたい。また、プロジェクトを地域活性化に繋げられたらと思います。今年も良い年になりますように。



楽しさは、共有して生まれる。
千鳥福祉会 理事長 山本 昌子
あけましておめでとうございます。
新しい年が始まりました。あまりにも早い一年に唾然とする日々です。そして、今年もいい年でありたいと願う所でございます。
夏祭りもあつという間にやってきます。会員の皆様から頂く志を一層ウインウインに高める企画を考え、この会の存在意義を不動のものにできないかと願う毎日ですが、最近特に、ご縁がある方と一緒に「楽しそう...」「夢があるんだなあ...」「なんか話が盛り上がったなあ...」と感じることができた時、自身も同じ気持ちになって良い一日だったと感じています。今年も、後援会の皆様とそんな一瞬を感じ合い、良い年だったなあと思える年にできればと思います。
お忙しい中お世話になりますが、よろしくお祈り致します。



Support News 後援会 後援者

2019.1/1. NO.35
社会福祉法人千鳥福祉会
〒690-0814 松江市東持田町1415
TEL0852-24-8820 FAX0852-24-8825
URL <http://www.tidori.org/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

平成31年の年頭に告げたい



千鳥福祉会後援会
会長 川上 裕治
(松江土建株式会社 代表取締役社長)

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には「平成」最後の新春を、ご家族お揃いで健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、北朝鮮対応の進展に伴う「南北首脳会談」や、史上初の「米朝首脳会談」が開催され、世界平和に向けて確実に歩み出したと感じさせ、拉致問題の早期解決に向けても、大きな期待を寄せたところでもあります。国内では、世相を表す漢字が「災」であったように、豪雪や地震、豪雨などにより、多くの尊い人命や財産が奪われました。一方、平昌五輪大会での日本人選手の大活躍、大阪万博2025年開催決定、高円宮絢子様のご結婚、栃の心・貴景勝の平幕優勝、大谷選手のメジャーでの新人王受賞など、嬉しいニュースもありました。

今年は、新しい人を選び統一地方選挙や参議院議員選挙が行われ、5月には新天皇の即位に伴い新元号となることから、個人的には「新」の漢字ではないかと予想しています。このように、新春から何かと気ぜわしい雰囲気の中での日々を送ることとなりそうですが、今年のサマーフェスタは、新元号のもとで初めて開催するフェスタですので、気分も新たに、盛大なものにしたいと考えております。

会員の皆様には、今年も大変お世話になることと思いますが、千鳥福祉会の諸活動を積極的に支援する所存ですので、皆様のご理解とご協力の程よろしくお祈り申し上げます、新春のご挨拶と致します。

新しい時代のサマーフェスタ。

気がつくと、昨年のサマーフェスタは平成最後のサマーフェスタでした。

千鳥福祉会後援会の最大行事として行う、サマーフェスタ共催。手探りの中、17回続けてきた祭りへの協力の積み重ねは、当初、私たちが思い描いたものから大きく成長しました。そして、私たちも変わった。それは、ボランティア協力をして下さる会員のみなさんの感想からも実感できることです。本当の意味での共催へ。求めに応じての協力から、みんなが必要として、一緒につくるお祭りに。今年、千鳥福祉会後援会としても取り組みを一歩進めたいと考えています。

「みんな輝くpiece」というテーマの下、昨年「支え合うコミュニティづくりを障がいがある方がつなぐ祭りから」とされた新たなコンセプトが、新しい時代の道標になるのかも知れません。新しい時代のサマーフェスタと私たちは、どんなことになるのか想像もつきませんが、一緒に新しい時代をつくって行きましょう。そこには、きっと、想像以上の未来が。



一緒に育つ

- 利用者の方、地域住民の方とのふれあい、また福祉関係を志す学生ボランティアの方とお話出来たりと、暑期中、皆さんの熱い想いの詰まったフェスタに参加することが出来、貴重な経験となった一日でした。
- 初めて、ボランティアに参加させていただきました。職員の皆さんが利用者さんの目線に腰を下ろし、優しく声をかけられる姿がとても印象的で、人と人とのふれあいの大切さを改めて感じた時間となりました。
- 今回初めてサマーフェスタに参加させていただきました。活動を通じて他者貢献の大切さを知りました。また、地域住民とのふれあいや様々な実体験により自己肯定感を育むことができました。
- 今年はやきそばのブースを担当。とにかく暑い、お客さんが行列になって慌てる。焼きそばが完売するまでその調子。同僚4人で交代しながら作り続ける。休憩するって1人、2人姿が見えなくなる。「あいつら何処に行っちゃーや」誰かが言う。めちゃくちゃ忙しいのに皆の顔には笑顔が溢れていた。だからサマーフェスタのボランティアはやめられない。来年も楽しむ為に参加させていただきます。



一緒につくる

- 当社では毎年テント貸出やステージ設置等で携わらせて頂いておりますが、作業される職員様・ボランティアの方にとって、暑さや作業性が改善できることはないのかと感じました。そういったことも含め、来年からはより企画・運営に携われたらと考えております。
- 気づいた点ですが、ステージの客席が太陽の当たりやすい位置にあったため、影ができるようにステージの向きを変えるか、建物やステージ袖のテントで日陰ができるような配置を考えるといいと思いました。また、トイレや授乳室の案内表示を建物に貼るだけでなく、スタンド式の案内表示を各所に設けると、もっと分かりやすくなると思いました。
- 気づいた点としては、露店が入口付近に集まっているため、露店前が結構混雑していたのが気になりました。舞台付近に座れるスペースがありましたが、もう少し座れるスペースをばらしてみると、舞台周りも賑やかになるのではないのかなと感じました。
- 隣の焼きそば売り場は地獄のような様相で、テントの場所が反対だったら風下で熱風がすごかったらと思うと、やっぱり氷柱(?)のような気持ちだけでも涼むものがいいかなとも思いました。
- 暑さ対策、手足を突っ込める氷水バケツとかがあればいいかもしれません。(衛生的な問題もあるかもしれませんが)用意して頂いた冷たいおしぼりは本当に最高でした。
- アイスクレープおよび冷たい大福に関すること、『どんな商品〜?見せて〜』という声が多くありました。露店前の机に商品写真を提示すると、イメージしやすいのではと考えました。
- シャトル便、利用される方から尋ねられることが多かったことから、次回からは回るルートや止まる位置等の地図をバス待合所に付けて欲しい。もしくはボランティアに配って頂いた資料に添付して頂けると助かります。
- シャトルバス乗り場に何席か椅子を準備した方が良いと思いました。足の不自由な方や高齢の方が長時間待つのは大変だと思います。

会社訪問

松江土建株式会社

島根県松江市学園南二丁目3番5号
松江土建株式会社は、多彩な人材と先進テクノロジーのコンビネーションによりお客様にご満足と感動をもたらす新たな価値を追求してまいります。



立体駐車場(151台収納)



社屋外観

弊社は、新社屋ならびに立体駐車場が完成し、平成30年7月17日より、新社屋での業務を開始しております。

昭和19年創立以来、今日に至るまで着実に発展し続けることができましたのも、皆様のご支援、ご鞭撻の賜物と謹んで御礼を申し上げます。弊社は、新社屋での営業開始を機に、独創技術に一層磨きをかけ、全社一丸となり、全力を尽くしてまいります。お近くにお越しの際は、ぜひお立ちください。役職員一同お待ちしております。



応接室



役員会議室



執務室



リフレッシュルーム(女性専用)



大会議室



「未来を想う」農園づくりはじめます ~きすなオリーブプロジェクト~

大変な親日国であるトルコから、同国内でもトップクラスのオリーブ農家さんが育てたゲムリックという品種を「きすなオリーブ」と命名し、その苗が昨年日本に初上陸しました。

オリーブの花言葉は「平和」「知恵」又「長寿」や「子孫繁栄」。きすなオリーブは無農薬栽培で気候や環境変化にも強く、丈夫で遅ましいため山陰でも生育可能です。また観賞用としてだけでなく、研究が進み実は勿論、葉の効果、効能が証明され様々な分野で需要が高まりつつあります。

このプロジェクトは、日本中で広がりつつある耕作放棄地を活用し、成長力のあるきすなオリーブを植え、地域に合ったビジネスモデルを構築して経済効果を生むという目的があります。

地域の課題である耕作放棄地の活用だけでなく、6次産業化も視野に入れ雇用を生むことで、地域の活性化へ繋げていけたらと、このプロジェクトに携わることになりました。

●興味のある方、連絡お待ちしております。
カフェ マリンベル TEL (0852) 82-2880
青山まゆみ まで

